

## 第2節 中学2年生

### 生命と環境 ～上高地から世界を眺める～

岡 村 明・大 林 直 美  
高 松 逸 朗・佐 光 美 穂  
大 矢 美 香

【抄録】 中学2年生の総合人間科は、「生命と環境」をテーマとするグループ研究と個人研究である。前年度の総合人間科で培った興味関心・スキルのより一層の充実を図りつつ、現代の課題となっている持続発展が可能な社会を作るために、自分たちに何ができるかを念頭において研究を進めさせることを意図した。

【キーワード】 生命 環境 グループ研究 個人研究 ESD（持続発展教育）

#### 1. 学習目標

##### (1)学習目標

- ・興味関心を持ったものごとについて、筋道を立てて探求する。
- ・グループ学習を通じて、相互理解を深め、協力して問題解決にあたる姿勢を持つ。
- ・自然事象や社会環境について、興味関心を広げていく。
- ・持続可能な社会を作るために、自分に何ができるか、自分たちには何ができるかを念頭におきながら、研究をしていく。

##### (2)活動内容

- ・林間学校の機会を通じて、「生命と環境」についての興味関心を深め、研究の下地となる体験をする。
- ・グループでテーマを選択し、研究・FWによって「生命と環境」のテーマの下に自分の興味関心を掘り下げていく。

- ・集録執筆・発表を通じて、自分たちの研究をまとめ、かつ他のグループとの研究・体験の共有をはかる。

##### (3)系統性

- ・前年度とのつながり  
前年度は「生き方を探る」をテーマに、それぞれの興味関心に基づいた個人研究を進めたが、その中でも小グループ内での発表などにより、友人たちとの交流を図ることを目指していた。今年度は前年度の交流プログラムの延長上に、グループ研究を主体として進めていく。前年度の総人の出発点となった興味関心を今年度も出発点とし、それを自然事象や社会環境といった広い視野へつなげていきたい。
- ・ESDとの関わり  
現在社会が直面する「生命と環境」の問題は、ESDのまさに本領とするところである。林間学校におけるFWを頂点としたグループ研究を通じて、持続可能な在り方を追求させていきたい。

#### 2. 一年間の授業日程

##### (前期)

回	日付	授業内容（予定）
1	4月17日	オリエンテーション
2	4月18日	グループ分け・テーマ分け
3	5月2日	事前学習
4	5月16日	事前学習
5	5月30日	研究内容の発表準備
6	6月27日	研究内容の発表
7	7/8～7/10	FW・林間学校
8	9月12日	個人研究の研究計画の調べ学習
9	9月26日	個人研究の計画書作成

## (後期)

10	10月10日	個人研究の調べ学習
11	10月24日	個人研究の調べ学習
12	11月7日	個人研究の調べ学習
13	11月14日	研究集録下書き
14	11月28日	研究集録下書き
15	12月12日	研究集録清書書き
16	1月9日	研究集録清書書き
17	1月23日	個人研究発表準備
18	2月6日	個人研究発表会
19	2月13日	個人研究発表会
20	2月20日	全体発表会・一年間の振り返り

本年度は、例年と異なり7月に林間学校が行われた。それに合わせて総合人間科も進めていく。生命と環境をテーマに、乗鞍・上高地にてFWを行った。また、さらに、例年と異なるのは松本市においてもFWを行うことになったことである。

授業の取り組みについて述べる。4月に今年の総合人間科はどのように進めていくかを教員が説明した。林間学校と並行して進めるために、7月までは林間学校での班を総合人間科におけるグループとし、グループ研究を進める。

6月に、事前学習のまとめとしてパネルセッションを行う。そして、7月にFWを行い、夏休みには、その振り返りを行う。それをもとに、9月以降の個人研究のテーマを決定する。2月に、個人研究の発表を行った。

### 3. グループテーマ

両クラスのグループテーマが以下である。7月の林間学校までに各グループが、テーマについて事前学習をして、6月のパネルセッションでグループの研究内容を共有する。

#### 【グループテーマ一覧】

クラス	班	テーマ
A	1	環境による生活の工夫
	2	上高地の環境
	3	上高地と自然といきものと
	4	上高地は緑かった
	5	生物から上高地を見る
B	1	神降地
	2	上高地の生物と医療
	3	生き物と自然についての関わり
	4	上高地の自然とそれに関わる人々
	5	上高地の環境と動植物のつながり



4月オリエンテーション



グループ研究の様子



パネルセッションの様子：その1



パネルセッションの様子：その2

#### 4. 個人テーマ

個人研究については、必ずしも林間学校のテーマと同じである必要はないとして進めた。したがって、各自の研究テーマは多岐に渡るようになった。乗鞍・上高地と国内外との比較研究を行う者が多数あった。

以下に個人テーマの一覧を述べる。

##### 【個人テーマ一覧】

クラス	個人テーマ
A	植物を守るために
	生物の絶滅
	高原でとれる農作物について
	魚の養殖
	外来生物問題 ～私たちに 今できることとは～
	自然災害
	上高地に棲む虫と魚達
	人と蝶
	水 どうやって生きるか？
	美しい景色を守る取り組み ～マイカー規制とは～
	Let's Fairies in the forest
	ただいま寄生虫
	上高地の薬・毒草
	堰止湖の世界
	外来種って？
	絶滅 ～その進行を止めるには～
	自然と人々の活動
	希少な動植物を守る工夫
	動物と生息地について
	倒木更新
	ゴミ処理の問題点
	消えゆく命 ～ホッキョクグマの現在～
	環境問題 ～ドイツの取り組み～
	高原の自然と景色

B	宇宙から見た未来の地球
	餌やり防止
	名大附は「生命と環境」を教えるべき学校なのか？
	環境を守る ～身近にできるCO2削減法
	日本にしか分布しない生物 固有種
	乗鞍から視点を広げて
	富士山から見る火山
	絶滅してゆく動物たち ～私たちの暮らしの影響～
	世界遺産の保護 グレート・バリア・リーフ - Enviroment of Great barria reef -
	地球人と世界自然遺産
	Conserution of forests
	エルニーニョ、ラニーニャ現象
	知床の環境保全 ～上高地との「ちがひ」をさぐる～
	火山 噴火のメカニズム
	サルと生態系
	離島医療について
	環境を壊さないために ～藤前干潟から学ぶ～
	ブラックバスと人間
	エコツーリズム 推進法と自然の関わり
	植物の保護・保全
	高山植物
	山岳診療所
	上高地 has long long history
	創造と破壊 ～リサイクルの真実～
	動物の被害対策
	名古屋市の環境保全
	行政機関がいう災害対策ってなに？
	人間とサルの関わり合い
	里山
	毒キノコ見聞録 ～毒キノコ入門～
	環境問題と生態系の関わり
	地球温暖化による人々への影響
	寒地のトナカイ
	祭りでつながる人々の思い
	山の危険と対処法
	環境保全
	ホテルの抱える問題と移入
	日本人と動物信仰
	海上自衛隊
	山岳信仰・修行とはなんなのか
	富士山
	天白川の自然形態から学ぶ 人間と河川の関わり

美しい ～外来植物が高山植物に及ぼす影響～
動物会議 -動物園は廃止すべき？
土砂災害
外来植物と人との関わり ～ Life ～
地球温暖化が気候に与える影響
自然を守る
人間と深く関わってきた動物たち
有毒植物と人との関わり
日本の自然にせまっている危機とその対策
地球温暖化と戦い続ける生物たち
人の健康について LONG LIFE
自然を生かした観光地 ～上高地と白神山地を比べて～
DINOSAUR

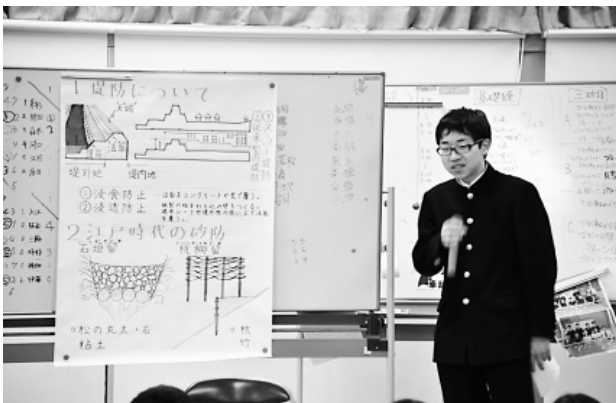
分担を終え、毎回の授業ではワークシートの完成、提出がしっかりと行えた。また、研究に必要な資料も自主的に集め、熱心に取り組むことができた。

グループ研究のポスターセッションでも各自発表の練習を含め、ポスターの工夫の行き届いた楽しい発表ができた。それに続く、個人研究でも発表を行い、各自思いのポスターや写真を駆使した素晴らしい発表で一年間の総合人間科の授業を締めくくることができた。

(文責：高松逸朗)



個人研究の発表の様子：その1



個人研究の発表の様子：その2

## 5. 一年間の学習を終えて

4月からグループ学習を始めることになった。前年度を通してよく知る者同士によるグループ作りであったため、スムーズに決めることができた。各グループで役割